

## ◆大雨被害の対策◆

大雨の被害によりかん水した圃場では、病害虫が発生しやすい状況になっています。圃場をよく見回り、早期発見・早期防除に努めましょう。

但し、特別栽培米の圃場では指定農薬以外で防除はできませんので注意してください。



## 病害虫防除薬剤について

病害虫名	薬 剤	使用時期	使用量 (10a当り)
いもち病	カスラブサイド粉剤DL	穂揃期まで	3～4kg
	カスラブサイドゾル		希釈倍数：1000倍 散布液量：150リットル/10a
	ブラシン粉剤DL	収穫21日前まで	3～4kg
	ブラシンフロアブル		希釈倍数：1000倍 散布液量：150リットル/10a
アワヨトウ	ディプテレックス粉剤	収穫14日前まで	4kg
	ディプテレックス乳剤 ※購入時に、毒劇物のため印鑑が必要		1000倍

## 栽培記録カードの 提出について

2回目提出期限⇒8月19日(金)まで  
提 出 先⇒JA各支店・事業所

1回目の栽培記録カードが未提出の方は、早急に提出するようお願いいたします。  
※予備はJA各支店・事業所においてあります。

# 出穂後の水管理と早期落水の防止を徹底しましょう。

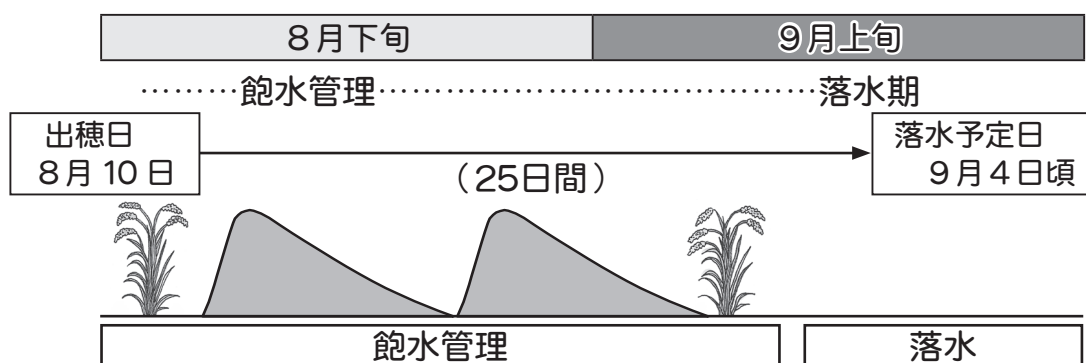
- 登熟の初中期は、米粒へのデンプンの転流が盛んな時期です。出穂後は飽水管理（田面が出たら水を入れる）を行いましょ。
- 落水時期のめやすは、米粒に70%程度のデンプンが転流される出穂後25日以降です。



## 出穂後のポイント …適正な水管理で、根の活力を高めましょ。

- 出穂後も飽水管理の励行で根の健全化を図ります。
- 早期落水は根の活力を低下させ、品質低下や倒伏を助長させます。
- 完全落水は出穂後25日以降とする。収穫作業が可能な限り収穫期まで水分が必要で。
- 異常高温や強風フェーン時には稲体からの急激な水分の蒸散による障害が発生しますので速やかにかん水して障害防止に努めましょ。

### ■今後の水管理イメージ図



### 現在の生育状況

	8月1日調査		
	今年	前年	目標値
草丈	89.4	85.4	83.0
莖数	坪当り	1,137	1,058
	1株当り	22.1	22.2
葉令	13.0	13.1	13.1
葉色	31.8	29.2	32.0

### 今後の管理

- 出穂期前後から登熟期は、ほ場が乾かないよう、溝や足跡の水が無くなる前にかん水すること（飽水管理）が必要です。なお高温下の常時湛水は根腐れにつながりやすいので、注意してください。

ご不明な点等がございましたら JA 米穀課（TEL777-3180）までお問い合わせください。